

# MDMA

(エクスタシー)

麻薬指定物質

## Drug Facts

### 化学名

3,4-メチレンジオキシメタンフェタミン

### 分類

興奮剤、エンパソジェン

### 特徴

脳内のセロトニン、ノルアドレナリン、ドーパミン濃度を上げ多幸感をもよおします。他者への共感性や親密度を促進します。警戒心をほぐし、人間関係の壁を取りはらうことから心理療法やカウンセリングにも効果的です。

### 使用上の注意

- MAO阻害剤(一部の抗うつ剤)、バイアグラ、興奮系薬物(覚せい剤など)と併用しないこと。
- 本剤を服用し、換気の悪い屋内で運動するときは十分な水分(スポーツドリンクがよい)を補給し、休息すること。ただし、水分を摂りすぎないこと。
- 製造元のはっきりしない本剤の錠剤タイプにはカフェイン、エフェドリン、アンフェタミン他が混入されており、危険な副作用を伴うことがある。
- 用法・用量を厳守し、頻繁な服用は控えること。
- 精神的な依存を形成することがある。
- 次の人は服用を控えるか、医師に相談すること。  
心臓疾患、高血圧、動脈瘤、脳卒中、緑内障を患ったことのある人。肝臓、腎臓の悪い人。低血糖の人。

### 効能・効果

服用後20~60分(場合によっては2時間)で効果があらわれ、急速にピークに達する。感情がオープンになり、他者への親密感、一体感を感じる。効果持続時間3-5時間。ピーク1-3時間。効果減退後の気分の落ちこみ、倦怠感が1~5日ほど続くことがある(年齢が高いほど顕著)。耐性の形成早い。

- 身体:疲労回復、皮膚感覚の鋭敏化、発汗、眼球振とう、視覚変容(まれ)
- 精神:気分の高揚・多幸感、緊張・不安の緩和、他者への親密感、なんでも許す、優しい気持ちになる

### 副作用

あごを噛みしめる、舌や頬を噛む、体温の上昇、食欲減退、不眠、勃起不全、吐き気、頭痛、めまい

### 用法・用量

極度の空腹時をさけ、次の量を水やお湯などで、経口服用する。鼻孔吸引も可能だが可能。一般的な質の良い錠剤のMDMA含有量は80-120mg。 ■ライト 40-75mg ■ミディアム 75-125mg ■ストロング 125-200mg

### その他

- 使用回数が増えるにつれ、初期のころのような好ましい効果を感じられなくなることがある。そのような場合は6ヶ月以上服用を停止し、その後の服用は月に1度までにとどめること。バランスのよい食事を取り、体調のよくないときには服用しない。本剤の服用前に5-HTPを服用すると好ましい効果が高まるという意見もあるが、プラシーボ以上の効果はないという意見もある。
- 長期におよぶ頻繁な服用の結果、神経系へ害を与えたり、記憶力の低下、うつ病の発症を招く可能性があるという問題について、長年、論争が続いている。
- アメリカでは、PTSD患者への少量のMDMA投与の安全性を確かめる治験がすすんでいる。

### 保管および取扱上の注意

- 湿気の少ない涼しいところに密栓して保管すること。本剤の化学構造は安定しているため、劣化は少ない。
- 小児の手の届かないところに保管すること。